



日野第一中学校新校舎完成 二学期から使用開始

開校62年の歴史を持つ日野第一中学校ですが、校舎の老朽化と度重なる増築により複雑化した配置に悩まされてきました。そこで、約2年間に渡り改築工事を進め、この度新校舎が完成しました。

新校舎は、日野市内で初の屋上プール、長屋門風の校門を始めとした日野の町並みに調和したデザイン、多摩産材を多用した木のぬくもりもある施設・設備、雨水利用による中水道の整備などが特徴です。

また、少人数指導、グループ学習や研究発表等の多様な学習内容・形態に対応できる少人数教室や、学年規模で使用できる多目的室、食堂などが整備されています。どの教室も採光の工夫により太陽光が降り注ぐ、子ども達の学びの環境に配慮した明るい教室を提供することができました。

(庶務課)

校名板の除幕式

9月1日の「あいさつ運動」に合わせて、日野市長、落成記念式典実行委員長、校長、PTA会長、生徒会長により、日野市長が書かれた校名板の除幕式を行いました。



就学相談を実施

来年度に小学校または中学校へ就学・進学を予定されている園児・児童を対象に就学相談を行います。

心身に障害があると思われる、気になる様子や行動が見られるなどのお子さんが、適切な教育を受けることができるにはどのような教育環境が望ましいのか、就学相談員が保護者の方々に必要な情報を提供し、丁寧な相談を進めていきます。

保護者と十分な相談を行った後、適正な就学先について助言する「就学相談委員会」を行います。10月24日以降、5回の開催を予定しています。

※就学相談については、事前予約等が必要です。

問合せ先▶特別支援教育推進チーム(内線5262)

特別支援教育講演会

特別支援教育を広く市民に理

平成20年度東京都児童・生徒の学力を図るための調査と平成21年度CRTの結果

これらの調査は、児童・生徒一人一人に確かな学力の定着と伸長を図ることと、各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善に生かすために実施しています。

日野市の結果は都及び全国の平均を上回っています。今後の課題として、学習への関心・意欲を高め、各教科の学習で身に付けた知識や技能、思考力や判断力等を活用して、

平成21年度 CRT(教研式標準学力検査)結果

		国語	社会	算数	理科
小4	日野市	76.1	81.7	81.6	75.9
	全国	73.2	80.1	79.3	75.2
中1	日野市	77.1	68.9	71.5	69.4
	全国	73.7	66.2	67.4	67.2

平成20年度 東京都児童・生徒の学力を図るための調査結果【観点別結果】

		平均	観 点 別 結 果				
			問題を発見する力	見通す力	適応・応用する力	意志決定する力	表現する力
小5	日野市	62.1	82.3	62.0	56.5	53.9	72.8
	都全体	60.2	81.5	59.6	54.5	50.6	72.1
中2	日野市	71.7	82.4	52.3	70.6	85.9	71.9
	都全体	69.2	81.4	49.9	67.3	83.6	71.2

問題解決を図るための考える力の育成が必要となります。

(学校課)

◆ 新型インフルエンザ ◆ うつらない・うつさない

- 普段から健康的な生活を心がけ、「手洗い」「うがい」「咳エチケット」を習慣づけましょう
- 普段から健康観察を徹底してください
- 急な発熱(38℃以上)やせき、咽頭痛等の症状が現れた場合は、無理な登校は避け、速やかに医療機関で受診しましょう(学校へ連絡をしてください)

第二発育急進期の共有

日野市公立中学校校長会会長
吉村 正久



人は、赤ちゃんの時期に急激に発育します。次に思春期の頃また急激に発育します。このように人には急激に発育する時期が二回あります。この時期を発育急進期といいます。

思春期を迎える中学生は第二発育急進期にあたります。この時期の特性は心と体が著しく成長することです。このことにあわせて、学習能力や運動能力が著しく高くなるといわれており、いわば思春期は発展・飛躍のチャンスです。

しかし、成長があまりに急激であるためにアンバランスを起し、内面、身体面で不安定になることもあり、保護者の方々とまどわれることがあると思います。

一つ、二つ、……九つと「つ」のつく年齢までは健康面での配慮が大切だと言われています。

中学生には、前記のような発育段階であるからこそ、知・徳・体の調和ある成長が大切です。

中学生を預かる私たちは、保護者の方々と「第二発育急進期の特性」を共有しながら、生徒の健全な成長と発展を目指していきたいと願っています。

小学校の窓

小学校の紹介

「ホームページも、開いてみてください」

日野市の各小中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。

今号では、前号の中学校に引き続き、小学校の様子を紹介します。

紹介する内容は、各校のホームページや学校便りの入口です。詳しくは、各校のホームページをご覧ください。

(学校課)

日野第一小学校

「地域と共に伸びる学校」



本校は、明治六年の開校以来、地域に根ざした地域の学校として、地域と共に歩み伸びてきました。

かつて、学校はお寺と共に地域の中心でした。この再現を夢見て、昨年度から「日野宿こども横丁」を大昌寺で実施しています。また、地域と共に歩む教育の研究成果を十一月五日に発表します。ご期待ください。



大昌寺「時の鐘」をつく

校長 小杉 博司

<http://www.e-hino1.hino-ky.ed.jp>

日野第二小学校

「チャレンジのある学校」



リレーのバトンパスやリードを友達と研究したり、休み時間も自主的に算数教室で学習したりと、一人一人の向上心が光ります。

路線バスの絵や車内外のアナウンス、夏休みの作品募集や市民水泳大会、漢字検定にも大勢が挑戦しました。

今後も、個に応じて様々なチャレンジを促し、知識、技能の活用を図りたいと思います。



工夫してけん玉をペインティング

校長 中村 康成

<http://www.e-hino2.hino-ky.ed.jp>

日野第六小学校

「本校の特色ある教育」



本校は「健やかな心と体をはぐくむ指導法の工夫」を研究主題にして体育科の授業研究を進めています。子どもたちが、豊かな成長を遂げるには、学ぶ力、豊かな心、そして健やかな体が必要です。昨年度は健やかな体づくりに向けた食育の研究を行いました。食育の研究を土台として、更に基礎体力の向上を目指した体育の授業研究を進めバランスのとれた人間としての成長を追究して参ります。



五年生マット運動の研究授業

校長 古宮 キヨ子

<http://www.e-hino6.hino-ky.ed.jp>

潤徳小学校

「学校自慢」



136年の歴史、駅3分の利便さ、カワセミが来るビオトープを持ち、自然にも応援の人にも恵まれる学校です。

ここ数年、特別支援教育やICT活用教育で先進校としての役割を担ってきました。今年は英語活動で、子ども一人ひとりのコミュニケーション力を高めたいと研究に励んでいます。827名の子どもが校庭で異学年混ざって仲良く遊ぶ姿は誇りです。



青空の下、異学年混ざって遊ぶ子供達

校長 宮崎 芳子

<http://www.e-juntoku.hino-ky.ed.jp>

平山小学校

「地域とICT」



今、本校が最も力を入れている二つの取組の一つは体験活動。コミュニケーションスクールとして、地域の教育力を活かし、平山おかぼや金ゴマ栽培の農業体験等から、地域を学んでいます。二つ目は、ICTの効果的な活用による算数の学力の向上。児童の理解状況に応じて適切な課題が出る学習支援システムを取り入れ、一人一人の児童のつまづきを把握し、基礎・基本の定着を図っています。



メディアセンターでの学習風景
(教員も実態把握法の研修中)

校長 五十嵐 俊子

<http://www.e-hirayama.hino-ky.ed.jp>

南平小学校

「ジャガイモのおすそ分け」



本校の6年生はジャガイモを育てました。収穫量は予想をはるかに越えて、約130kg。嬉しい誤算です。

そこで地域の特別養護老人ホーム(豊かな里)におすそ分けし、さらに残ったジャガイモは地域の一般の方にもお配りしました。子ども達が育てたジャガイモを手にし、皆さん大変喜んでいました。



栽培したジャガイモで福祉交流

校長 照屋 守久

<http://www.e-minamidaira.hino-ky.ed.jp>

旭が丘小学校

「豊かな自然環境を活用して」



本校南側法地には約1haの雑木林が残されています。この土地があることに子どもたちは、四季折々の自然の移ろいを身近に感じる事が出来ます。

特に、夏は昆虫、冬は野鳥観察の絶好の場を提供してくれ、新緑や紅葉、花々の美しさは子どもたちに意欲と頑張る力を与えてくれます。今年も夏休み中、昆虫観察会を開きました。



雑木林での昆虫観察会

校長 中島 和夫

<http://www.e-asahigaoka.hino-ky.ed.jp>

東光寺小学校

「環境学習に取り組む」



本校は、日野市のモデル校として、平成16年度ひのっ子エコアクションの指定校を受け、今でもエコの学校を目指して、児童と教職員は、節電、節水、ごみを出さない取り組みを進めています。今年は、ゴーヤの緑のカーテンを作りました。屋上のソーラー発電も始まりました。



成長しているゴーヤの緑のカーテン

校長 垣内 成剛

<http://www.e-tokoji.hino-ky.ed.jp>

日野第三小学校



「日野大好きプロジェクト」

今年の開校60年を迎えます。その節目にあたり、地域の環境・歴史・人々に目を向け、その素晴らしさに気付かせたいと考え、総合的な学習の時間に「ふるさと単元(日野大好きプロジェクト)」を新設しました。「なし園」「谷地川」「伝統文化」「地域の歴史」など魅力的な題材と地域の方々の協力で、生き生きとした学びが進行中です。



3年生梨園を見学し袋かけの体験

校長 京極 澄子

<http://www.e-hino3.hino-ky.ed.jp>

日野第四小学校



「自然環境を生かした教育」

本校は、近隣の多摩川を活用した教育に積極的に取り組んでいます。
多摩川は日常の授業である理科、生活科、総合的な学習の時間の舞台です。夏休み中には四小水がき隊で川で泳いだり、科学クラブで自然観察や水質検査を行ったりしました。



多摩川で泳いでみよう

校長 太田 由紀夫

<http://www.e-hino4.hino-ky.ed.jp>

日野第五小学校



「輝け 五小の子」

明るく元気な403名の五小の子どもたちが、か(考える子)が(がんばる子)や(やさしい子)け(元気な子)を目標に毎日頑張っています。
また、3つの【あ(あいさつ・あんぜん・あとしまつ)】も心がけています。
夏休みの午前中は、プールや冷房施設のある教室で、補習授業を受けながら、一生懸命に勉強しました。



サマースクールで真剣に自主学習

校長 竹山 弘志

<http://www.e-hino5.hino-ky.ed.jp>

日野第八小学校



「創立四十周年を祝う」

10月31日は、本校の創立40周年を地域の保護者とともに祝う式典・祝賀会が開催されます。
開校当時に校章をかたどって作ったビオトープも本校の特色ある活動の一つとして、各学年の栽培活動の場となっています。地域・保護者の願いを知り、さらに、地域を愛する子どもを育てています。



校章をかたどったビオトープ

校長 上條 茂

<http://www.e-hino8.hino-ky.ed.jp>

滝合小学校



「担任が英語活動を全学年で進めています」

昨年度より文部科学省の研究実践校の指定を受け、外国語活動(英語活動)の研究を進めています。
本校の活動の特色は、担任が主導していること、指導計画や評価規準を作成して活動を進めていること、特別支援学級を含む、すべての学級で活動を行っていることです。年度末の2月10日には、授業を全国に公開しますので、是非ご覧になってください。



外国語活動の授業の様子

校長 佐藤 周一

<http://www.e-takiai.hino-ky.ed.jp>

日野第七小学校



「全校でエコ活動」

3年前に児童会が、子どもができるエコ活動として、紙の分別収集を行ったのはじまりです。毎週金曜日、清掃時間に学級で不用になった紙を集め、児童会が紙の分別をします。
また、児童会では、自分たちができるエコ活動の紹介や紙の分別の呼びかけを行います。一学期は水の使い方について、クイズや劇で発表しました。



きれいな水に戻すのに使う水の量は?

校長 島崎 忠志

<http://www.e-hino7.hino-ky.ed.jp>

仲田小学校



「夏休み中も勉強に頑張っています」

仲田小学校では、今年度も夏休みの10日間を利用して、夏季補習講座を行いました。参加した子供たちは、夏休みの課題学習や一学期の復習問題などに集中して取り組んでいました。今年はパソコンの計算ソフトを活用した算数学習も取り入れてみました。真剣な顔で計算問題を解き進めていました。この夏季講座でまた輝いている子供たちの姿をたくさん発見することができました。



夏休み、意欲的に学習する子供たち

校長 千代谷 和紀

<http://www.e-nakada.hino-ky.ed.jp>

夢が丘小学校



「豊かな心を育む縦割り班活動」

縦割り班活動が活発に行われています。
350名規模の学校はこうした活動がとても適しています。縦割り集会をきつかけに普段からふれあい、縦割り給食そして全校遠足へと広がっていきます。6年生はよくまとめ、最後はその6年生への感謝とつながっていく子ども主体の活動が受け継がれ、夢小の豊かな心が育まれています。



豊かな心を育む縦割り班活動

校長 矢野 優

<http://www.e-yumegaoka.hino-ky.ed.jp>

七生緑小学校



「みんなで四かけ(声、目、手、心をかける)ていねいに」

新校2年目。校舎増改築工事後、今年度から本校舎での授業が始まりました。「やさしく、かしこく、たくましく」の学校教育目標のもと、「かわりを大切にしたい学校」、「一人一人が輝く学校」、「笑顔と歓声があふれる学校」、「明日また来たい学校」、「地域と共に創る開かれた学校」を目指して日々努力しています。



1年生を迎える会

校長 佐島 規

<http://www.e-nanaomidori.hino-ky.ed.jp>

ひのっ子ががんばっています

日野第八小学校

5・6年生の有志26名が、7月28日(火)にセイオン杉並で開催された「邦楽演奏会」に参加しました。



七生緑小学校

七生緑小学校合唱団がNHK全国学校音楽コンクール東京都本選で銅賞を受賞しました。結成2年目の今年、昨年度に引き続き東京都西地区予選で金賞を受賞し、本選では銅賞を受賞しました。通常の朝練習・土曜練習に加え、夏休みの猛特訓の成果です。



大坂上中学校

野球部

第60回多摩地区中学校野球大会で、多摩地区の中学校21校が参加した記念大会で大健闘し6回戦まで進み、準々決勝で1-0で府中六中に惜敗しました。野球部の熱い夏が終わりました。



吹奏楽部



8月7日、府中の森芸術劇場で行なわれた第49回東京都中学校吹奏楽コンクールB組において、3年連続の金賞を受賞しました。

旭が丘小学校

旭が丘小学校は、普段の音楽集会や日野市交流音楽会等で活躍してきました。



日野第四中学校

吹奏楽部

昨年度に引き続き、東京都中学校吹奏楽コンクールB組において、金賞を受賞しました。コンクールでの実績だけでなく、学校や地域の数多くのイベントに参加し、地域に貢献し多くの感動をお届けしています。



(写真は、「オヤジの会主催のサマーフェスティバル」での演奏風景。)

東京都中学校吹奏楽コンクールでは、第四中学校、大坂上中学校のほかにも、七生中学校、三中学校が金賞を、第二中学校、三沢中学校が銀賞を受賞しました。(学校課)

日野第三中学校を

より魅力ある学校に！

日野第三中学校では、より多くの子どもたちが入学してくれるような、さらに魅力ある学校になるよう、プロジェクトチームでさまざまな方策について話し合いが行われています。

○英語教育の強化

卒業までに希望者全員が英検2級・3級を

取得できるよう、週2回の補習を実施。

○寺子屋風の補習の実施

放課後、ひとりひとりの疑問に対応する寺子屋風の補習を実施

○部活動の活性化

外部指導員の活用や大学との提携。

○バス通学定期の補助

高幡不動駅から高幡台団地間のバス代補助。検討状況は今後日野市のホームページでお知らせしていきます。(学校課)

教育センター「調査・研究の中間報告会」にご参加を

教育センターでは、日野市の教育の当面する四つの課題について調査・研究を行っています。

- (1) 不登校児童・生徒の学習支援の研究―在宅並びに適応指導「わかば教室」でのeラーニングを活用した教育の開発
- (2) ICTを活用した教育の開発
- (3) 理科教育推進(授業の支援と支援センター・支援員など) 研究
- (4) 郷土(ひの)教育の推進(郷土教材の開発と活用、普及) 研究

その中間報告会を開催します。

夏休みの催し報告 (図書館)

▼日野宿発見隊

「用水で遊ぼう!」

江戸時代、米どころとして栄えた日野の田んぼに水を供給した日野用水。日野図書館と日野宿発見隊は、このような用水を知ってもらおうと、こども発見隊イベント「用水であそぼう」を8月1日に新東光寺地区センター前で行いました。

当日は約60名の親子が参加。ドジョウやオイカワなどを網ですくい、緑と清流課職員の話を聞いたり図書館が用意した本で名前を調べたりしました。

日野宿発見隊では子どもたちが自分たちが住んでいるまちの魅力について、楽しく学んでもらいたいと活動しています。

▼夏休みおはなし会報告

中央・高幡・多摩平・平山・百草図書館で8月に夏休みおはなし会を行いました。

図書館でおぼけの本のリストを発行したこともあり、「おぼけ」をテーマとしたおはなし会を主に行いました。こわいおぼけに、おかしなおぼけ、おぼけの本やおはなしに子どもたちはこわがったり、笑ったりと様々な反応を見せてくれました。

第六回「ひの新能」開催

日本の伝統芸能の一つである能と狂言を、いつもは子ども達でにぎやかな日野中央公園で、夕闇が深まる神秘的な雰囲気の中薪の明かりの下で開催します。

お誘い合わせの上、是非ご家族連れで越越しください。

【日時】 9月26日(土)

午後6時開演(開場は午後5時) ※公演時間約2時間

【会場】 日野中央公園(雨天時は日野市民会館大ホール)

【料金】 前売り大人2千円、中学生以下1千円(当日大人2千500円 中学生以下1千円)

【チケット販売所】 日野市民



公民館の催し

友遊子と将棋道場

将棋の先生が、礼儀や作法を通して対戦や将棋の面白さを教えてくれます。毎月第2土曜日の午前9時〜正午に中央公民館で実施(直接開場へ)。

今後の実施 11月14日、12月12日、平成22年2月13日、3月13日。

問合せ先 中央公民館 (☎58117580)

第5回高幡台分室まつり

公民館を利用している各サークルが、日頃の活動成果を発表する「高幡台分室まつり」。作品の展示、演奏会、模擬店、体験コーナーなど内容盛りだくさん。子どもから大人まで楽しめます。10月31日(土) 午前10時〜午後3時に中央公民館高幡台分室(教育センター内)で実施。

問合せ先 中央公民館高幡台分室 (☎59210864)

七生丘陵での暮らしがわかる

七生丘陵の雑木林の自然を中心に、人と自然の関わり合いや「七生地域」の特徴について伝える特別展を開催します。

中央・高幡・多摩平・平山・百草図書館で8月に夏休みおはなし会を行いました。

図書館でおぼけの本のリストを発行したこともあり、「おぼけ」をテーマとしたおはなし会を主に行いました。こわいおぼけに、おかしなおぼけ、おぼけの本やおはなしに子どもたちはこわがったり、笑ったりと様々な反応を見せてくれました。

七生がわかる

「七生ってどんな地域?」昔の地図や資料で紹介。

七生丘陵の自然と出会う

丘陵の土台となる地層から発見された化石や動植物を標本や写真で紹介。



「七生丘陵の自然と暮らし」

10月3日〜12月13日

会場：新選組のふるさと歴史館(神明4-16-1)

古代から現在まで、どの時代も人々の営みと七生丘陵の自然が深く関わりをもっていました。江戸時代から明治時代の絵図や、ハイキングコースのパンフレットなどを展示。

散策コースや史跡などの地域の案内もあります。ぜひ特別展示と七生丘陵にお出掛けください。(郷土資料館)